

登場人物の気持ちを読む

2021.10.29(金)

物語文や小説などでは、登場人物の気持ちを問う問題が必ず出題されます。
たとえば、山形県公立高校入試2020年度¹番の問題です。

- 問三 —— 部1について、糸綴じを開始する「菜月」の気持ちを説明したものとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
- 問七 —— 部4と答えた「菜月」の心情について、国語の授業で次のような話し合いが行われました。に入る適切な言葉を、本文中から十五字で抜き出して書き、に入る適切な言葉を、二十五字以内で書きなさい。

「どんな気持ちなんだろう」と考えてはだめです。それは、あなたの気持ちであって、登場人物の気持ちではないからです。

問われている場面での登場人物の気持ちは、その場面に至るその人物の行動を読みとり、時系列に整理します。その行動を分析することで、その人の気持ちが説明できます。

たとえば、次の文章を読んでみてください。

「…棺の中の母など見たくもなかった。裏庭にはだして飛び出してみたものの読経の音が現実に引き戻す。両脚をふんばり、奥歯をかみしめ、ヒフが破れるほどにきつく両手をにぎりしめ、夜空をにらみつけてみたものの、1番星の向こう側にほほえむ母の顔が見えたとき、なにもかもが切れた。熱い熱い涙が瞳の中からあふれ出るのを止めることはできなかった。」

この文章の中には、登場人物の”気持ち”を表す表現はひとつもありません。しかし、登場人物のどうにもならない悲しさや寂しさややるせなさを読み取ることはできます。

数専ゼミの読解学習では、このように場面から主人公の気持ちを“説明”する訓練をします。

主人公の気持ちが説明できるようになる数専ゼミの読解指導です。

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: (023)633-1086 / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp

数専ゼミで学習する教材については、こちらから実物サンプルをご覧になれます。→